

安全に講習を行うために、主催団体さまへのお願い

日本赤十字社福岡県支部

感染防止策を徹底して安全に講習が開催されますよう、以下の項目に留意をしてください。

1. 環境に関すること

(1) 3つの密（密閉・密集・密接）の防止を図ること。

①密閉の防止

- ・会場の十分な換気を行うこと。
- ・2つの方向の窓を同時に開放すること。

(会場に窓が無い場合は、サーキュレーターを設置する等、換気の悪い密閉空間を作らないよう対策を行うこと。)

②密集の防止

会場の広さが十分で、人との間隔は、原則2m（最低1m）を確保すること。

③密接の防止

実技やグループワークにおいても、人との接触を必要最低限にすること。

(2) 講習資材の消毒を適宜、適切に行うこと。

(講習資材を消毒するため、アルコール消毒液、ペーパータオル等をご準備ください。)

2. 内容に関すること

人工呼吸（呼気吹き込み法）の実技は実施しないこと。

3. 受講者に関すること

(1) 受講者の体調が万全であること。

- ・講習前に検温し、別紙「健康チェック表・同意書」により、健康状態を確認すること。
(有熱者や有症状者は参加をご遠慮ください。)
- ・講習終了後に受講者数を担当指導員へお知らせください。
- ・健康チェック表は主催者側で保管し、感染症等が発生した場合には、ただちに日本赤十字社福岡県支部へ連絡すること。

(2) 受講者の安全が十分に図れること。

- ・手指消毒やマスクの着用ができていること。
- ・近距離や真正面での会話をできるだけ避けること。

4. その他

講習中に発生した一切の事故や怪我・病気などは、当支部派遣指導員の責に帰すべきものでない限り、一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。